

日本・モルディブ共同声明 (骨子)

(総論)

- 民主主義、人権、法の支配など基本的価値を共有するパートナーであることを確認。

(政治・安全保障)

- モルディブは、地域と世界の平和と安定に貢献するための日本の努力を賞賛し「積極的平和主義」を支持。
- 海上安全保障分野等における防衛当局間の交流を推進することを確認。

(経済・経済協力)

- モルディブは長年の日本のODAを高く評価。防災・災害復興や気候変動への適応の分野で二国間協力を継続・強化することを確認。
- モルディブは日本からの投資増加を期待し、マレ国際空港整備・拡張計画への日本の更なる関与を希望。両首脳は新国際ターミナルビルに関する覚書を歓迎。
- モルディブは地上デジタル放送日本方式の採用を決定。日本は無償資金協力による日本方式導入支援を念頭に調査ミッションを派遣する旨表明。

(スポーツ)

- 青少年やスポーツの分野での協力強化の重要性を確認。モルディブは、日本サッカー協会からのサッカーボール100個供与や代表コーチの招へいに謝意を表明。

(地域情勢・国際的課題)

- 両首脳は北朝鮮による弾道ミサイル発射に深刻な懸念を表明。北朝鮮による核・ミサイル開発の継続は地域・国際社会への脅威との認識を共有。北朝鮮に非核化に向けた具体的行動と拉致問題を含む人道上の懸念への対応を要求。
- 両首脳は、海洋における国際法にのっとりた航行の自由や紛争の平和的解決の重要性を確認。インド洋を含めた周辺地域などにおける力による現状変更の試みが看過されてはならないことを強調。
- 両首脳は、公海上における飛行の自由及び民間航空の安全の重要性を強調。
- モルディブが日本の国連安保理常任理事国入り及び安保理非常任理事国となること並びに日本の国連経済社会理事会選挙立候補を支持。